

News Release

2025年9月10日

明星電気株式会社

超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA®」 デジタルツイン分野へのPOTEKAデータの活用検討を開始 ～ スペースデータと事業共創に向けた覚書を締結 ～

明星電気株式会社(本社:群馬県伊勢崎市、代表取締役社長 夏明 正伸)は、気象庁測器検定付き小型気象計を用いた超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA」をデジタルツイン技術と融合し、新たなソリューションサービスを創造すべく、株式会社スペースデータ(本社:東京都港区、代表取締役社長 佐藤航陽、以下「スペースデータ」と事業共創に向けた覚書を締結しました。

■ 本取り組みの目的と今後の展開

明星電気は、POTEKAによる地上気象観測データを、サービス開始前の実証段階を含め、およそ15年間蓄積しています。現在では、日本国内で800地点もの独自気象観測インフラの構築・運用に至っております。一方、スペースデータは、地球デジタルツイン技術の開発および実証を進めており、防災分野のほか、交通、エネルギー分野などの様々な産業分野における新たな価値創造を目指しています。

そこで、POTEKAの得意とする局地的かつ高時間分解能の気象ビッグデータを地球デジタルツイン技術と融合させることで、これまでにない精度をもつ新しいデジタルツインを構築し、頻発・激甚化する気象災害のみならず、社会活動における様々な課題解決に繋がるソリューションサービスを創造すべく、新技術およびビジネス検討に取り組みます。

今後、両社は地球デジタルツイン実証版の構築・評価を行い、その成果を踏まえて本格的な事業化に向けた検討を進めてまいります。



超高密度気象観測・情報提供サービス「POTEKA®」

POTEKAは、明星電気が独自開発した小型気象計から毎分送信される8種類(気温・気圧・相対湿度・風向・風速・日射・感雨・雨量)の気象観測データを、「POTEKA NET」を通してお客さまにリアルタイムで提供する気象防災情報Webサービスです。

<https://www.meisei.jp/poteka/>

■ 株式会社スペースデータについて <https://spacedata.jp/>

「宇宙を誰もが活用できる社会へ」を掲げ、地球・宇宙環境を精密に再現するデジタルツイン技術や、宇宙ロボット・宇宙ステーションの運用基盤を開発しています。宇宙とデジタルの融合により、産業の新たな可能性を拓き、持続可能な宇宙インフラの実現を目指しています。

【お問い合わせ先】

明星電気株式会社

営業本部 気象防災営業部 気象防災・サービス営業グループ 岡田

(E-mail:okadat@meisei.co.jp、TEL:080-3591-8469)

管理本部 経営企画部

(E-mail:pr_sr_ir@meisei.co.jp、TEL:0270-32-0953)